



PLAYBACK 2019

ドーハ2019世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会、
 ならびに2020年東京五輪の代表選考会
 「マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)」への
 出場資格を懸け開催された第38回大阪国際女子マラソン。
 沿道や競技場から37万5千人の観客が、428人のランナーが
 繰り広げる熱いレースに声援を送った。

第38回大会 2019.1.27 出場者:428人/国内412人、外国16人(8カ国) 完走者:366人 気温:8.4℃(スタート時) 湿度:47%(スタート時)



順位	名前	年齢	国名(所属)	タイム
1	ファツマ・サド	27	エチオピア	2:25:39
2	小原 怜	28	天満屋	2:25:46
3	ボルネス・ジェブキルイ	32	ケニア	2:26:01
4	中野 円花	27	ノーリツ	2:27:39
5	阿部 有香里	29	しまむら	2:28:02
6	田中 華絵	28	資生堂	2:28:42
7	田中 智美	31	第一生命グループ	2:29:03
8	大森 菜月	24	ダイハツ	2:29:15
9	何 引麗	30	中国	2:31:14
10	アベベチ・アフエワーク	28	エチオピア	2:31:31

START!

スタート

ペースメーカーは大会記録も狙える5キロ17分に設定されスタートした。



12キロ付近

本大会2度の優勝をほこる福士(ワコール)が選手間接触で転倒。



折り返し

20キロすぎでネクストヒロインの大森(ダイハツ)が後退し、先頭はジェブキルイ(ケニア)、サド(エチオピア)、小原(天満屋)、福士の4人に絞られた。



35キロ付近

25キロ付近から転倒の影響もあり遅れ始めた福士は、35キロを過ぎたあたりで棄権。



ゴール

38キロ付近でサドがペースを上げて2時間25分39秒で初優勝。日本人トップの小原はトップと7秒差の2位でフィニッシュ。



外国人選手として4大会ぶりの優勝を果たしたサド。24度目のマラソンで、経験の差をみせた。



序盤から先頭集団に食らいつき、終盤はサドと競い合った小原。



準招待選手

第2集団から追い上げた準招待選手の中野(ノーリツ)が2時間27分39秒で4位に入り、MGC出場権を獲得した。